

感染症情報 10月1日～7日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	596例(堺市	26例)
②RSウイルス感染症	483例(堺市	47例)
③溶連菌感染症	346例(堺市	53例)
④ヘルパンギーナ	181例(堺市	10例)
⑤手足口病	180例(堺市	13例)

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	64例(堺市	1例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比6.6%増の2,103件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より4%増、堺市では前週より24%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週より4%減、堺市で39例→47例は21%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より14%増、堺市では前週45例→53例は18%増であった。ヘルパンギーナは府下で前週より1%増、堺市で14例→10例であった。手足口病は府下で前週より27%増、堺市では前週11例→今回13例であった。

インフルエンザが府下で前週が45例で、今回は64例であった(42%増)。堺市では前週が0例で、今回は1例あった。

麻疹の報告はなかったが、風疹が2例あった(堺市では0例)。